

ICHIBAN

高松中学校校長 塚田 秀和

2年学年主任 糸元 桜児

3年生に向けて準備着々と

球技大会、立志式と一つ一つの行事が過ぎ、3学期も3分の1が過ぎました。1月から始まった講座学習への意欲は高く、朝学習では緊張感のある学習の雰囲気が流れています。また、学年プログラム委員会では、SDP（スタートダッシュプロジェクト）と題して1・2年生合同のプログラム委員会が開かれました。1・2年生全体で次の学年に向けて活動しています。テーマは「徹底」。「好きなことはするけれど、好きではないことはできない」という共通の課題があり、その課題解決のために一つの手段として「伝統三項目の『挨拶』を徹底してやっていこう」ということが話し合われました。この1か月、除雪当番の予定と合わせて、各学級が全員で除雪やあいさつ運動を行っています。最高学年に向けて、さらにレベルアップしていきましょう。

自分の目標、決意を新たにした立志式

1月30日(金)に河北台中学校の講堂にて立志式が行われました。少し緊張しながらも、真剣に式に臨もうとする姿がとてもよかったです。また、代表として意見発表に臨んだ花野令奈さんの堂々とした姿も印象的でした。祝辞や激励の言葉、意見文では、「感謝」という言葉がたくさん出てきました。支えてくれた人への感謝、今の当たり前への感謝、家族への感謝、これらを聞いて、みなさんは何を思い、どのように感じたでしょうか。立志の節目を迎え、決意を新たにしたみなさん、目標に向け努力を続け、感謝の思いを大切に自分の人生を歩んでいきましょう。



[意見発表]高松中学校代表 花野 令奈さん 「0から1に踏み出す勇気」

皆さんは、人前に立って話すことに自信がありますか。私は、もともと人前にでることがとても苦手でした。小学生のころは、授業中に手を挙げることがほとんどなかったくらいです。しかし、こうして、前にでて今スピーチできていることが素直に嬉しく、自分の成長を感じています。

今の私が変わるきっかけとなったのは、中学校に入学してすぐの学級役割決めです。私は、学級代表に立候補しようか心の中ですごく迷っていました。「失敗したらどうしよう」「自分にそんな大役がきちんと務まるのか」色々な不安がありました。しかし、それでも、「何もしなければ今のままで変わらない」、「成長したい」という強い気持ちが湧いてきて、勇気をもって手を挙げることができました。この経験が私の成長の第一歩だったと思います。

そして、この一步をきっかけに、学級代表に限らず、授業での発言や、プログラム委員会などいろいろなところで人前に立ったり、挑戦したりすることができるようになりました。そして、挑戦することで、いろいろな経験を重ねることができます。経験を重ねることで自分に自信がついていきます。何もしていなかった「0」の自分から、皆の前で手を挙げるという「1」を乗り越えたことで、さらに次の一步を踏み出すことへの不安が、以前よりも小さくなったように感じます。

この経験を通して、私は挑戦することの大切さを学びました。怖くても勇気を出して一歩踏み出すことで、自分の世界

が広がることに気づきました。

どんなに小さな挑戦でも、それを積み重ねることで自分の力になり、成長につながるのだと思います。これから先、迷いや不安があっても、その勇気を忘れずに、挑戦し続ける人でありたいです。そして、支えてくれた人たちへの感謝の気持ちも大切にしつつ、自分らしく成長し、周りの人にも良い影響を与えられる人になりたいです。

ここまで私を支えてくださった先生方、家族、友達に改めて感謝の気持ちをこれからも伝えていきたいです。また、挑戦も恐れず、自分らしく前に進んでいきたいと思います。

みなさんの中には本当はこんなことをやりたいけれど、「自信がない」、「周りの目が怖い」などと思い、なかなか自分のやりたいことができない人がいるかもしれません。でも、大丈夫です。私も最初はそうでした。しかし、結局は、小さくてもいいから一步進むことが大切です。最初の一歩を踏み出しさえすれば精神的負担はとても小さくなります。ですから、皆さんも怖がらずに、まずは一歩踏み出してみてください。「0から1に踏み出す勇気」は、特別な人だけが持っているものではありません。

小さな一歩が、きっと皆さんの未来を大きく変えてくれます。

(生徒振り返り)

立志式では、自分を見つめ直すことができたので良かったです。大人になる自覚などを持つことができたので良かったです。自分の志や将来の目標を立てようと思いました。自立心や責任感、自己肯定感の向上をしたいと思いました。責任を持った行動を心掛けていきたいと思いました。自分の言葉で思いを伝えたいと思いました。自分の将来のことや将来の夢、将来の目標などについて真剣に考えることができたのでよかったです。 1組 青崎 佳宣

リハーサルで練習したことを本番もちゃんとできたので良かったです。意見発表で、全員の前で緊張していたと思うけど、堂々と発表していたのがとてもすごいなと思いました。記念講演で佐竹さんの話を聞いて、感謝を忘れずに日々生活していきたいと思いました。 1組 東 茉優

立志式の前は、将来の夢はなかったけど、佐竹さんの講話を聞いて思ったことは、自分が好きな物を将来の夢にしていくべきいいという事を知れたり、講話を聞いてやっぱり将来の夢を叶えるには努力したりしていかないとと思いました。でも、悔しくなることや辛いときもあるだろうから佐竹さんをすごいなと尊敬できました。これから自分の好きな物や趣味を軸にして、将来の夢を決めていきたいし、それを実現できるようにしていきたいと思いました。 2組 小酒 凜花

立志式を終えて、今まであまり意識していなかった目標や夢を改めて考えることができました。家族や先生に支えられていることに感謝したいと思いました。これからの自分の生き方や目標について真剣に考えたいと思いました。これまでには、目の前のことだけを考えて過ごしていましたが、これからは、将来の自分を意識しながら行動していきたいと思います。立志で立てた志を心にとめ、失敗を恐れずに挑戦し、自分らしく成長できるよう努力していきたいです。 2組 杉本 壮曇

立志式で自分が色々考えた抱負は将来の自分や行きたい高校を明確にすることです。私が将来なりたい自分は信頼される大人になることです。今の自分の性格ではほど遠いので、そのために、まず自分の行動や言動に責任を持ち、客観的に自分を見つめる努力をします。私は行動してから考える人なので、行動する前に一度、考える習慣をつけて、大人としての一歩をふめたらなと思いました。 2組 南 瑠音

立志式を終えて、自分がこれからどうやって生きていくかを考えないといけないという事を再確認できたと思います。自分自身がステージ上に立つわけではなかったけど、たくさんの人の話を聴いて、どの高校へ行くか、どんなルートでなりたい職業に就くか、などを考えることができたからです。また、今日の記念講演に来て下さった佐竹さんは、失敗してもそれを受け入れることが大事だとおっしゃっていて、普段の自分だと失敗をずっと引きずってしまうので、切り換えて次につなげていけるように頑張りたいです。 3組 白井 基貴

元トランポリン日本代表の佐竹玲奈さんのお話を聞いて、自分もなにか「夢中」になって頑張れることを見つけたいなと思いました。夢がなきゃ目標も立てることができないので、そろそろ行きたい高校に目星をつけて勉強したり、努力したりして、夢をかなえたいと思いました。まだ具体的ななりたい職業とかがないので、一日一日を大切にして、興味の湧くことを見つけて、なるべく早くに将来の夢や目標を立てて努力し続けたいと思いました。 3組 竹本 まこ

2月の行事予定

2月 2日（月）全校集会

3日（火）1・2年期末テスト範囲発表

5日（木）部活動禁止（～12日）

12日（木）1・2年期末テスト



18日（水）今月の振り返り（朝）、絆ミーティング

19日（木）朝テスト（数）

20日（金）短縮日課・成績連絡票配付

24日（火）6限2年探究学習発表会

25日（水）専門プロ委（後期ラスト）

26日（木）朝HR（委員会報告）、生徒議会